

異なるデバイスを一括制御

「frogblue」を日本市場で本格展開 マルチプライズディベロップメント

マルチプライズディベロップメント（横浜市中区、www.multiply.net/frogblue）は、電気錠や照明などの異なるデバイスを一括制御することができるソリューションとして「frogblue」の販売を開始し、日本市場で本格的に展開している。オフィスビルや集合住宅には、電気錠、照明、監視カメラなど様々なデバイスが設置されているが、現状ではデバイス単位で運用するケースが多い。そのため消灯忘れなど、

が発生した場合には、現場に戻る手間や不要なコストが発生する要因となっていた。

デバイスなどの効率的な運用を志向するスマートビルディングやスマートホームに対する関心は高まっているが、実際に導入する場合には初期コストなどの課題が浮上する。

こうした課題を解決するため、同社では「frogblue」の導入提案を開始した。「frogblue」は、Bluetooth meshネットワークでデバイスの一括制御が可能なソリューションとして提案す

る。一般的な工事との比較で大幅に日程を短縮化できるためコスト削減が可能。デバイス操作は専用アプリ又はfrogキーで行える。照明の点灯などは、日の出/日没のデータを有するアストロ機能を用いて、時間管理によりセキュリティ性を高めている。

「frogblue」は、Wi-Fiを用いた無線ネットワークでは、データや侵入履歴の改ざんなどが懸念される。「frogblue」のBluetooth meshネットワークでは、この懸念を払拭するために高いレベルのセキュリティを担保する暗号化通信を採用。時間管理により、よりセキュリティ性を高めている。

「frogblue」は、QRコードでクラウドに簡単に接続することができ、遠隔で店舗、オフィスや住居内の状況を確認できるため、防犯対策や顧客対応の最適化など、ユーザーの課題解決

